



よろこばせごっこ ~上組の子通信~

No.31

令和3年 2月 2日

学校の教育目標；五ヶ瀬を愛し、ともに学び合い、ふれあい、高め合う子どもの育成

五ヶ瀬町立上組小学校 TEL 0982-82-0212 FAX 0982-82-0229 文責；校長 三橋正洋

あいさつは「幸せな人生」への大きな力

早いもので、暦は2月となりました。残り30日余りで、今の学年の学習が終わります。“次の学年のゼロ学期”として、そろそろまとめの時期になってきました。

昨日は全校朝会でした。県の緊急事態宣言中ということもあり、今回も放送でしましたが、いつものように、みんな真剣に臨むことができました。その時に話した内容です。

さて今日は、あいさつについて、みなさんと一緒に考えていこうと思います。入学式の時に「よろこばせごっこ式あいさつ」をしましたが、覚えていますか？ 前にも話しましたが、あいさつがしっかりできる人は、幸せな人生が送れる大きな力になります。それはなぜなのでしょう。あいさつにはどんな力があるのでしょうか。

まず、あいさつの言葉についておさらいをしてみましょう。前に、米村先生が話をしてくださいましたが、あいさつとは、

「① あい（挨）は、お互いの心を開く ② さつ（拶）は、お互いの心に近づく」

という意味があります。つまり、あいさつには、「周りの人たちと心でつながって、もっと幸せに生きていくための魔法の力」があるのです。ということは、これを意識して、あいさつをすることがとても大切なのです。

では、どのようなあいさつがよいのでしょうか。あいさつをする時間はどのくらいですか？ 「おはようございます」では、時間はわずか1秒ちょっとです。この本当に短い時間で、自分と相手の人との心をつなげる魔法の力を相手に伝えるわけです。どういうことに気をつけてあいさつをすれば、「周りの人との心を開いて、近づく」ことができるのでしょうか？ 調べてみると、次の3つのことを意識すればできることがわかりました。

1つ目は、「笑顔で」です。今マスクをしていますので、残念ながら顔の一部しか見えませんが、だからこそ精一杯の笑顔ですることが大事です。2つ目は、「相手の目を見て」です。このことは、できているようでなかなかできていないことかもしれません。3つ目は、「相手に伝わるような声の大きさで」です。声が大きすぎても小さすぎてもいけません。相手のことや相手との距離を考えることが大事です。実は先生も、この3つのポイントはできていませんでした。このことを知ってから、まだ少ししかこのあいさつをしていませんが、実際に意識してやってみると、何となく、いい気持ちになります。

では、みなさん、立ってください。幸せな人生を送れるためのあいさつの3つのポイントを意識して、「おはようございます」のあいさつをしてみましょう。教室にいる一人ひとりとやってみましょう。

最後に、みなさんが学校で見せているすばらしい「よろこばせごっこ式あいさつ」を、学校だけに終わることなく、にこにこ教室で、家庭で、近所などで、みなさんが出会う全ての人へ向けて、やってみてください。その時に、相手の人が「何か今日のあいさつは違うね」と言われたら魔法が伝わった証拠だし、みなさんのこれからが、きっと幸せな毎日になることと思います。

これからも、「よろこばせごっこ式あいさつ」で、心温まる上組小学校にしていきましょう。

